

令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添	なし
----	----

応募概要	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	いっぱんしゃだんほうじんこんごうかい		
	制作団体名	一般社団法人金剛会		
	代表者職・氏名	代表理事 金剛永謹		団体ウェブサイトURL
				https://www.kongou-assoc.com/
	制作団体所在地	〒 602-0912	最寄駅(バス停)	地下鉄烏丸線「今出川」駅
		京都市上京区烏丸通中立売上る龍前町590番地 (京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅、6番出口より徒歩5分)		
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒	最寄駅(バス停)	
	制作団体 設立年月	令和2年4月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表理事 金剛永謹	理事 種田道一、弘田幸稔、金剛龍謹、豊嶋晃嗣、宇高竜成	監事 吉村彰彦
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者 を置く	本事業担当者名	豊嶋晃嗣
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	戸嶋直忠(税理士) 豊嶋祐三子
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		support@kongou-assoc.com		0754417222

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>京都を活動拠点とする「金剛会」は、1981(昭和56)年に、先代宗家である二世金剛巖（25世宗家）、金剛流能楽師と愛好家によって任意団体として創設され、長年、流儀の伝承、普及、後継者養成に寄与して参りました。2020(令和2)年4月には、さらなる発展のために、「一般社団法人 金剛会」となり、2020(令和2)年度には文化庁「文化芸術収益力強化事業」に参画、2021年(令和3)年度、2022(令和4)年度、2024(令和6)年度、2025(令和7)年度には、文化庁学校巡回公演事業に採択されるなど幅広い活動に努めています。</p> <p>社員には、無形文化財各個指定(人間国宝)1名、無形文化財総合指定保持者13名、文化庁芸術祭大賞・新人賞受賞者、京都府、京都市の各文化賞受賞者、大学等で講師を勤める者が在籍しています。</p> <p>▼金剛流について</p> <p>能楽シテ方の流儀である金剛流は、古くは奈良の法隆寺に奉仕した猿楽座の坂戸座を源流としています。能楽シテ方五流のうち、宗家が京都に在住する唯一の流儀です。芸風は、豪快でめざましい動きの中にも、華麗・優美さがあり、「舞金剛（まいこんごう）」といわれます。また、豊臣秀吉から拝領した「雪の小面」や、金剛孫次郎自作の本面「面影」など、所蔵する能面・能装束に名品が多く、「面金剛（おもてこんごう）」とも言われています。</p>
	学校等における公演実績	<p>これまで、文化庁学校巡回公演事業、(公社)能楽協会主催による学校訪問公演、京都市主催による学生向け伝統文化公演、学校訪問型特別授業などに、長年に渡って携わってきました。近年の実績は次のとおりです。</p> <p>2019(令和元)年度 (公社)京都市芸術文化協会「ようこそ和の空間 伝統公演特別授業」 (公社)京都市芸術文化協会「ようこそアーティスト文化芸術特別授業」 (公社)京都市芸術文化協会「夏休み芸術体験教室・発表会」 文化庁「能楽体験 教員セミナー ～能楽に触れてみよう～」</p> <p>2020(令和2)年度 (公社)京都市芸術文化協会「ようこそ和の空間 伝統公演特別授業」 (公社)京都市芸術文化協会「ようこそアーティスト文化芸術特別授業」</p> <p>2021(令和3)年度 文化庁巡回公演 9校、自主学生鑑賞会7校、 京都芸術文化協会主催学生鑑賞会実施</p> <p>2022(令和4)年度 文化庁巡回公演 9校、自主学生鑑賞会15校、 京都芸術文化協会主催学生鑑賞会実施</p> <p>2023(令和5)年度 自主学生鑑賞会15校、京都芸術文化協会主催学生鑑賞会実施</p> <p>2024(令和6)年度 文化庁学校巡回公演 3校実施、自主学生鑑賞会15校、 京都芸術文化協会主催学生鑑賞会実施</p> <p>2025(令和7)年度 京都市役所新人採用職員研修2回 文化庁学校巡回公演 6校実施予定、自主学生鑑賞会6校、 京都芸術文化協会主催学生鑑賞会実施 京都市役所新人採用職員研修2回</p>
	特別支援学校等における公演実績	<p>2015(平成27)年度 文化庁巡回公演 1校(京都能楽囃子方同明会採択分)</p> <p>2022(令和4)年度 文化庁巡回公演 1校</p> <p>2025(令和7)年度 文化庁学校巡回公演 1校</p>

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	https://www.kongou-assoc.com/yoshuu.html
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	<div>ID:</div> <div>PW:</div>

別添	なし
----	----

【公演団体名 一般社団法人金剛会 】

本公演・ワークショップの内容	対象	小学生(低学年)		○	小学生(中学年)		○
		小学生(高学年)		○	中学生		○
	企画名	能楽の魅力を見つけよう～演出に注目！一人武者vs土蜘蛛～					
	企画のねらい	児童・生徒が能楽（能・狂言）の魅力を感じ、演出の工夫に注目することを通して、伝統芸能への理解と関心を深めることを目的としています。 狂言「柿山伏」では、ユーモラスな表現を通じて古典文化に親しみ、半能「土蜘蛛」では、迫力ある演出を通して能の美しさを体感します。ワークショップでは、能面・装束の鑑賞や摺り足・舞・謡・楽器の体験を通じて、児童・生徒の表現力と創造力を育み、日本文化への理解を促進します。 次世代を担う子どもたちが、五感を通じて日本の伝統芸能に親しむことは、教育的に価値があり、日本文化の継承に資するものです。					
	演目概要・演目選択理由	■狂言「柿山伏」 作者：作者不詳 典拠：宇治拾遺物語 狂言の代表作であり、小学校の国語教科書にも採用されている演目です。狂言は、昔の人々の日常を、当時の話し言葉でユーモラスに描いており、そこには当時の暮らしぶりや人々の感じ方を垣間見ることができます。本作品は、児童・生徒にも十分に理解できるストーリー構成となっており、擬音や動物の鳴き声など、年齢を問わず思わず真似したくなる場面が多く登場します。狂言ならではの“おもしろさ”を、体感しやすい演目です。 ■半能「土蜘蛛」 作者：作者不詳 典拠：平家物語 幽玄な世界を描く能の演目の中でも、ストーリーが分かりやすく、見せ場が多いため、児童・生徒をはじめ初心者の方にもおすすめの作品です。特に、激しい立ち回りや、シテ（主役）が細い蜘蛛の白糸を放物線を描くように次々と投げる演出は圧巻で、最大の見どころとなっています。このような演出を可能にした「蜘蛛の巣」は、金剛流第21世宗家・金剛唯一が考案したものです。本公演では、後場のクライマックスとなる場面を上演いたします。迫力ある舞台をぜひご堪能ください。					
	児童・生徒の参加または体験の形態	【ワークショップ】 1. 全員で、能と狂言の基本的な表現方法を体験します。/2. 先生に能面と能装束を着けていただき、実演を通して理解を深めます。/3. 代表の児童・生徒には能面をかける体験をしてもらい、その他の児童・生徒には能面コーナーを設置し、間近で見たり、覗いたりできるようにします。/4. 能の「摺り足」「舞」「謡」を、全員で体験します。/5. 代表の児童・生徒が、蜘蛛の巣投げの演出を体験します。 【本公演】 1. 全員で、狂言の演目の一場面を演じます。/2. 代表者は実際に楽器(鼓)を体験し、その他の児童・生徒は、手の動きだけで、鼓の構え方や手拍子で打ち方を学びます。/3. ワークショップで習得した謡を、演者のお囃子に合わせて全員で謡います。					
	児童・生徒の参加可能人数	本公演		参加・体験人数目安		参加者全員	
				鑑賞人数目安		会場の入場可能人数まで	
	本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	【プログラム構成】 1. ごあいさつ ・能のお稽古のはじめのご挨拶 ・本公演の流れの説明 2. 狂言「柿山伏」について ・「柿山伏」の代表的な所作を体験してみよう 3. 狂言「柿山伏」を鑑賞しよう！[12分] 4. お囃子の紹介と体験 ・各楽器の実演と体験 ・ワークショップで習得した謡をお囃子付きで謡おう！			<休憩10分> 5. 半能「土蜘蛛」を鑑賞する前に ・演目の紹介 ・能面・能装束・小道具の紹介と体験 6. 半能「土蜘蛛」を鑑賞しよう！[15分] ※詞章字幕付き 7. 能楽師との交流の時間 8. ごあいさつ ・能のお稽古の終わりのご挨拶		
		公演時間	100	分			
	出演者	●シテ方(下記より、シテ1名、後見2名、地謡6名、働き1名 計10名) ◎金剛龍謹、◎種田道一、◎廣田幸稔、◎豊嶋幸洋、◎今井克紀、◎豊嶋晃嗣、◎宇高竜成、宇高徳成、◎田中敏文、◎谷口雅彦、和田次夫、◎重本昌也、山田伊純、惣明貞助、向井弘記、湯川稜、中村洋臣 ●ワキ方(下記より、計2名) ◎江崎欽次朗、◎原大、福王知登、有松遼一、岡充 他 ●狂言方(下記より、計3名) 大蔵流狂言方・茂山家一門 ●囃子方(下記より、計4名) 笛方/◎森田保美、◎左鴻泰弘、杉信太郎、斉藤敦 他 小鼓方/◎吉阪一郎、◎曾和鼓堂、◎林大和、林大輝 他 大鼓方/◎河村大、◎石井保彦、◎谷口正壽、◎井林久登 他 太鼓方/◎井上敬介、◎中田弘美、◎前川光範 他 ●司会 豊嶋祐三子 ※◎印は、国定重要無形文化財総合指定保持者					
	演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	金剛龍謹/金剛流26世宗家の長男。若宗家。同志社大学文学部卒業。重要無形文化財総合指定保持者。京都市立芸術大学非常勤講師。京都市芸術新人賞、京都府文化賞奨励賞受賞。(公社)能楽協会理事。 廣田幸稔/同志社大学法学部卒業。重要無形文化財総合指定保持者。(公社)能楽協会理事を長らく務め能楽界の発展に寄与。現在は(公社)能楽協会京都支部支部長。2005年文化庁芸術祭新人賞受賞。京都市新人賞、京都府文化賞功労賞受賞。 豊嶋晃嗣/本事業担当者・ワークショップ主指導者/慶應義塾大学環境情報学部卒業。重要無形文化財総合指定保持者。北九州市民文化奨励賞、京都市芸術新人賞、京都府文化賞奨励賞受賞。(公社)能楽協会理事。					
	本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数 含む	出演者: 20 名		運搬		積載量: 2 t	
	スタッフ: 3 名				車 長: 5 m		
	合 計: 23 名				台 数: 1 台		

本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュー ル)の目安	前日仕込		無	前日仕込所要時間			時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
	9:30	9:30～11:00		13:30～15:10	10	15:10～16:30	16時30分
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数 目安 <small>※実施可能時期につ いては、採択決定後 に再度確認します(大 幅な変更は認められ ません)。</small>	6月		7月		8月		9月
	10日		10日		0日		15日
	10月		11月		12月		1月
	15日		15日		15日		15日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		95日
公演に係るビジュ アルイメージ (舞台の規模や演出 がわかる写真) <small>※会場条件につ いて最低限必要 な条件がある場 合には、様式 No.4内「会場簡</small>	【本公演】 ▼本公演仮設能舞台のイメージ 						
	▼半能「土蜘蛛」蜘蛛の糸を投げる場面 			▼狂言「柿山伏」 			
	【ワークショップ】 ▼会場イメージ 						
著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用权等の許諾手続の要否		該当なし		該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名			許諾確認状況		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

なし

【公演団体名

一般社団法人金剛会

】

ワークショップの
ねらい

650年以上にわたり受け継がれてきた能楽は、日本文化の豊かさや美意識が凝縮されている、次世代に伝えていきたい大切な芸能です。
本ワークショップでは、能楽師が“伝道師”として直接指導にあたり、能・狂言の基本要素を演者の視点から丁寧に解説します。児童・生徒たちは、実際に身体を動かしながら体験することで、能楽の世界に自然と親しみを持ち、公演への期待感を高めるとともに、学びの深まりへとつながる貴重な機会となります。
また、先生方にとっても、能楽の新たな魅力に触れることで、教育現場での活用や指導に役立つヒントを得られる内容となっています。
伝統芸能を“今”の感性で体験し、理解を深めるこのワークショップを通じて、能楽への関心と文化を大切にする心を育んでいきましょう。

児童・生徒の
参加可能人数

ワークショップ

参加人数目安

会場の入場可能人数まで

ワークショップの
内容ワークショップ
実施形態及び内容

【プログラム構成】

①ごあいさつ

②「能楽」ってどんな芸能？

・能楽についてレクチャー

・「土蜘蛛」のダイジェスト動画を観て能のイメージをつかもう！

③能と狂言の違いって何？

・能と狂言の基本を知ろう！一仕舞の実演鑑賞付き

・「泣く」や「笑う」などの表現方法の違いをつかんで体験してみよう（全員体験）

<Point!> 能楽は、「能」と「狂言」という異なる趣を持つ二つの芸能の総称です。

それぞれの喜怒哀楽の表現の違いについて、実演を交えながら解説し、児童・生徒自身にも体験してもらいます。能と狂言を比較しながら学ぶことで、能楽における表現の奥深さをより深く理解することを目指します。



④能面・能装束の紹介と体験（代表者体験）

・先生に能面・能装束を着けてみよう！

・代表の児童・生徒2名が能面を体験

<Point!> 代表の先生には装束と能面を、子どもたちの代表者には能面を実際に着用してもらい、能面や装束を身につけて演じることの難しさを体感します。また、日本の伝統工芸の粋を集めた能面や装束を間近で見ることで、その芸術的価値や文化的意義を深く感じてもらうことを目的としています。

<休憩>（10分）<Point!> 能面体験コーナーを設置します。

⑤「能」を体験してみよう！（全員体験/代表者体験）

・仕舞「土蜘蛛」実演鑑賞

⇒本公演では省略する前場を鑑賞します。

・「摺り足」ってどうやってするの？

・「舞」を舞ってみよう！

・「土蜘蛛」の謡の一節をみんなで謡おう！

⇒本公演では囃子付きで体験します。

・土蜘蛛の巣を投げかけてみよう！（代表者体験）

<Point!> 「構え」「歩み」「舞」「謡」といった能の基本型を体験します。能の所作

には、日本古来の美意識が息づいており、日本人ならではの繊細で優雅な動きが随所に表れています。さらに、土蜘蛛の巣を投げかける演出を体験することで、本公演への期待が一層高まります。

⑥能楽師との交流の時間

⑦ごあいさつ

・能のお稽古の終わりのご挨拶



所要時間100分（途中休憩10分含む）

その他ワークショップに
関する特記事項等

○「能楽」をわかりやすく纏めたテキスト小冊子を、児童・生徒全員に配布します。
○ワークショップと本公演の復習・予習動画 <https://www.kongou-assoc.com/yoshuu.html>
○能楽師の実演やお話と併せ、プロジェクターの映像を見ながらわかりやすく解説するため、スクリーンの借用をお願いします。その他、マイク2本、長机4台、折り畳み椅子6脚、延長コード1台、更衣室1部屋をお貸しいただけますと幸いです。（プロジェクター本体は持参いたします）

なし

一般社団法人金剛会

)

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。

- ・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。
- ・搬入車両が構内に入れず、搬入のための追加費用が生じてしまった。
- ・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。

上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。

任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。

詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。

なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

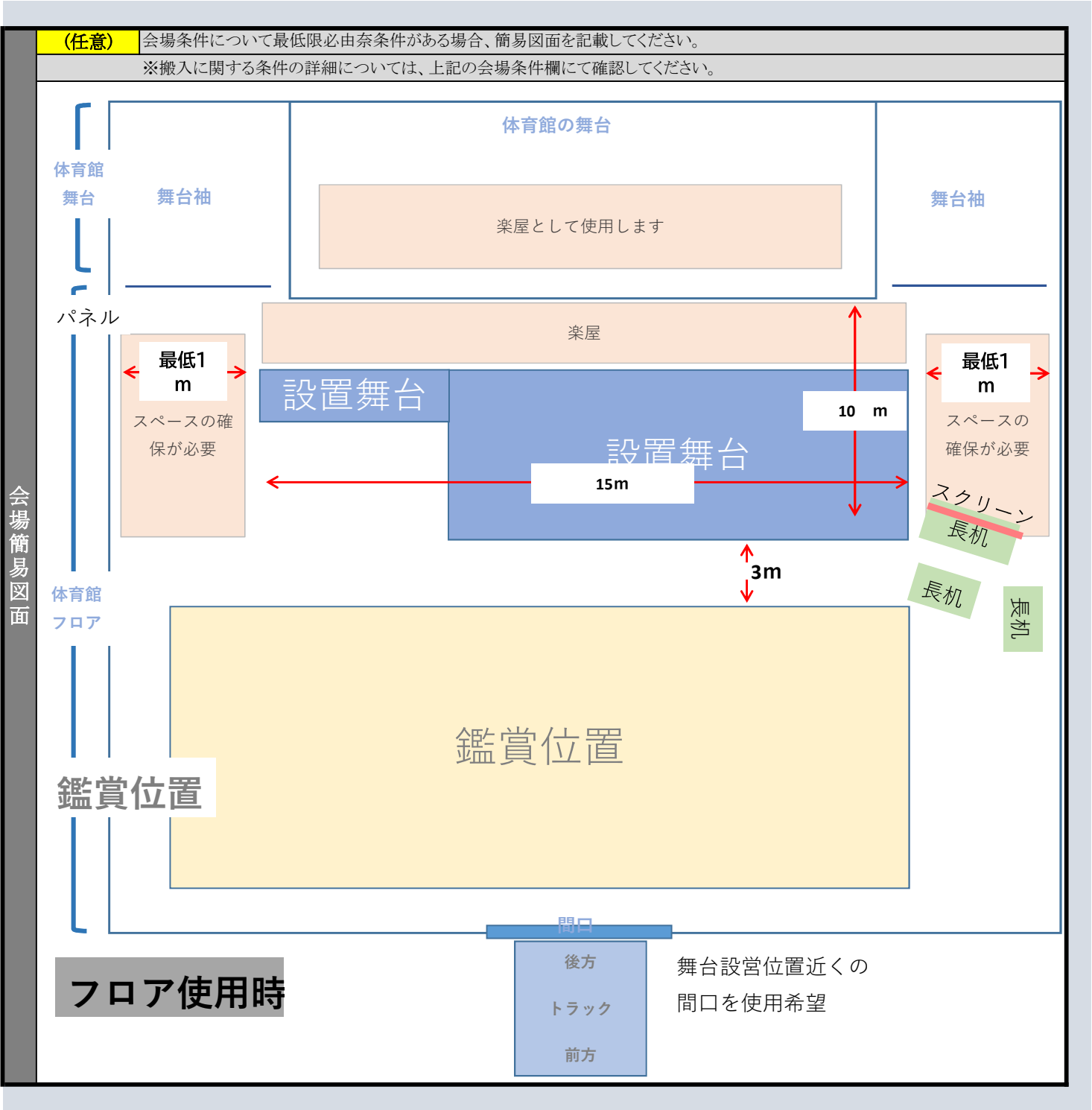
(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。					
会場の設置階の制限	2F以上応相談		主幹引き込み電源容量		不要	A以上
舞台設置面積	間口	15 m	奥行	10 m		
	高さ	2.5 m				
舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応		不可	
搬入間口の広さ	幅	2 m	高さ	2 m		
遮光の要否	遮光要件なし		緞帳の要否		不要	
ピアノの使用について	使用しない	ピアノを使用する場合の設置位置の指定			なし	
		ピアノを使用しない場合の移動の要否			不要	
搬入車両(トラック等)の横づけ	応相談		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		10 m以内	
搬入車両の種類	中型トラック		台数	1 台		
搬入車両の大きさ	車幅	2.5 m	車長	6.5 m		
備考						

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

(任意) 学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	要
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)	①トラックが搬入口に横付けできない場合は経路の写真または図面 ②2階以上の場合は階段及びエレベーター写真または図面

時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演	鑑賞対象となる児童・生徒全員	10分程度	ワークショップ実施後、時間外において各自(休み時間や自宅での個人練習等を想定)	短い謡の復習 本公演でお囃子と共演します。	ワークショップで習います。 謡が載っている冊子の配布とYouTubeのお稽古動画で復習できます。
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		



別添

なし

【公演団体名

一般社団法人金剛会

】

本事業への応募理由等

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

【本事業を通じて実現したいこと】

平成29年度告示の小学校・中学校学習指導要領において、「我が国と郷土の伝統と文化の尊重」が繰り返し強調されているように、児童・生徒が日本の伝統芸能に親しむ機会を持つことは、極めて重要であると考えます。本企画では、能楽を通じて、以下のような教育的成果の実現を目指します。

○ 本格的な能楽鑑賞の機会の提供

次世代を担う感受性豊かな児童・生徒に、第一線で活躍する演者による本格的な能楽に触れてもらうことで、伝統芸能の奥深さと迫力を体感する機会を提供します。

○ 「日本の美」が凝縮された能楽を通じて自国文化への理解を深める

能には、日本古来の美しい言葉を宿す謡（うたい）、洗練された舞（所作）、伝統工芸の粋を極めた装束、多彩な能面など、視覚・聴覚・身体表現を通じた美が凝縮されています。これらを一つの芸術舞台に昇華させているのが、脈々と伝統を受け継ぐ能楽師の存在です。能楽に触れることは、総合的な「日本の美」に触れることであり、自国文化への関心を高める契機となります。

○ 教員の指導充実への支援

教員の皆様にも能楽への理解を深めていただく機会を設け、学習指導の充実に寄与することを目指します。能楽の教育的価値を共有し、教科横断的な学びの展開を支援します。

【上記の実現に向けて、実施の工夫】

○児童・生徒が能楽に親しみやすくなるよう、ワークショップを通じて能楽の基本をレクチャー、実演、体験を通じて、実感をもって理解できるプログラム構成としています。

○ワークショップと本公演を通じて、実演だけでなく、本物の能面、装束、小道具、作りに触れる機会を作ります。

○能楽師との交流の時間を設け、その存在を身近に感じられる機会を作ります。

【学校との連絡調整について】

実施校との連絡調整につきましては、電話・メール・Zoomを活用し、以下のとおり対応を行い、信頼関係の構築に努めてまいります。

○ワークショップおよび本公演の実施に向けては、必要な資料を共有しながら、Zoomを用いて分かりやすくご説明し、各種ご不明点に丁寧にお応えいたします。

○実施校のご負担とならないよう、事業終了までのスケジュールをご提示のうえ、適切なタイミングでご連絡を差し上げます。

○実施校のご事情を十分に確認・尊重しながら、準備を進めてまいります。

【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】

ワークショップおよび本公演に向けたZoomでの打合せでは、内容をご理解いただいた上で、配慮が必要な児童・生徒の有無について確認させていただきます。すべての児童・生徒が楽しく参加できるよう、それぞれの特性を考慮し、内容の一部を調整するなどの工夫を凝らして実施いたします。

また、事情により会場（体育館）での参加が難しい児童・生徒に対しては、リモート中継による参加にも柔軟に対応いたします。

なお、事前ワークショップおよび本公演をより深くご理解いただけるよう、能楽師による実演やお話に加え、プロジェクタースクリーンを用いて動画・写真・文字情報を投影しながら進行いたします。特に本公演での「土蜘蛛」鑑賞時には、詞章も併せて投影いたします。

【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】

ワークショップおよび本公演で使用する共通の小冊子を、参加者全員に配布します。ワークショップで学んだ内容は小冊子で復習でき、習得したお謡いは本公演にてお囃子方との共演を通じて再体験していただけます。

また、ワークショップと本公演の間には復習用動画を用意しており、小冊子にはその動画にアクセスできる二次元コードを掲載しています。さらに、能楽の理解を深めるため、イラストや写真、演目「土蜘蛛」のマンガも収録しています。

公演終了後も、小冊子と動画を活用して振り返りながら、能楽の魅力を継続的に楽しんでいただけます。

事業を適切かつ円滑に実施するための工夫